

新著即報

督府 三月

○地學雜誌 第四一年第四八三號 五月

南樺太炭山の層位に就て(一)(今井半次郎)

阿蘇火山活動の現狀(一)(田中館秀三)

臺灣のアルカリ岩(市村毅)

南北樺太の白堊紀層の對比(二)(清水三郎)

河南省内地質巡見記(三)(渡邊久吉)

○地學雜誌 第四一年第四八四號 六月

紀州鬼ヶ城に於ける土地隆起現象(脇水鐵五郎)

知多半島の地形及地質(小瀬知常)

南樺太炭山の層位に就て(二)(今井半次郎)

阿蘇火山活動の現狀(二)(田中館秀三)

樺太野久線亞牛附近土木地質(齋藤文雄)

泉及び河川の起原(三)(石井清彦譯)

○日本教育 第八卷第五號 五月

火山帶・火山列・火山群及び火山線の區別(本間不二男)

○地質學雜誌 第三六卷第四二七號 四月

サントリン火山(田中館秀三)

○地質學雜誌 第三六卷第四二八號 五月

天鹽國上士別地方の地質及び岩石(大平安)

隱岐島後の地質學的並びに岩石學的研究(六)(富田達)

天鹽國上士別地方の地質及び岩石(二)(大平安)

南樺太内淵地方産アンモナイトの新種に就て(英文)(河田學夫)

○地質學雜誌 第三六卷第四二九號 六月

○日鮮同祖論 金澤庄三郎著 刀江書院發行 四月 定價三圓五十錢

○尺度綜考 藤田元春著 刀江書院發行 五月 定價五圓八〇錢

○増修洋人日本探檢年表 枋内曾次郎編 岩波書店刊行 二月 定價貳圓

○世界地理風俗大系 第二卷 支那(上) 執筆者 淺井治平

上田恭輔、霧淵一、木村増太郎、後藤朝太郎、佐藤弘、關野貞、田村剛、長野剛、矢野仁一、脇水鐵五郎、新光社發行 六月 豫約價三圓八〇錢

○大日本地誌大系 第五卷 新編武藏國風土記稿(一)雄山閣發行 五月 豫約價三圓

○大日本地誌大系 第十六卷 山州名跡志(一)雄山閣發行 六月 豫約價三圓

○多氣志樓蝦夷日誌集(第二)(日本古典全集 第三期) 四月

○Outline and general Principles of the History of Life. By. W. D. Mathew. 1928. University of California Press. 75Cents.

○朝鮮の市場經濟 善生永助著 調査資料第二十七輯朝鮮總

新著即報

一七

六五

東京地質學會第三十六年總會記事

總會に於ける講演の要旨

○人類學雜誌 第四卷第六號(第五百號記念論文) 六月

わが南洋群島に於けるポリネシア人の聚落に就いて

(長谷部吉人)

四肢骨の研究に基づける日本石器時代人類論(清野謙次

平井隆、關政則)

臺灣蕃族に就て(松村瞭)

民族と家畜(八木獎三郎)

葬制の沿革に就て(柳田國男)

所謂人類學と史前學との關係(大山柏)

○地震 第一卷第五號 五月

紀伊半島に於ける慢性的並に急性的の地形の變動に就いて(今村明恒)

活火山と地震(中村左衛門太郎)

地震の發生と氣壓勾配との關係(井上宇胤)

人為的地動の傳播速度の測定(那須信治)

○地震 第一卷第六號 六月

地震に伴つた地形變動に就いて(小平孝雄)

調和分割に依る震央決定作用用圖表(炭谷惠嗣)

○地理學評論 第五卷第五號 五月

地殼運動の根本問題(今村學郎)

湖水中の酸素含量及水素イオン濃度の水平分布に就て

(中)(吉村信吉)

密柑の生産地帯(下)(川口丈夫)

○地理學評論 第五卷第六號 六月

丹後地震の餘震の立體的配列より推定さるるに地塊の形狀

に就いて(那須信治)

我が國の人口狀態に就いて(長谷川新二)

河岸段丘の非對稱的配置と其の成因(一)(東木龍七)

湖水中の酸素含量及水素イオン濃度の水平分布に就て

(下)(吉村信吉)

隱岐の牧畑組織の持續(石田龍次郎)

○地理學評論 第五卷第七號 七月

鹽原火山東斜面及び鹽原盆地に發達する段丘に就て

(田上利三郎)

河岸段丘の非對稱的配置と其の成因(東木龍七)

クツクの第三次探檢船の日本通過(秋田武次郎)

○地理教育 第十卷第二號 五月

人種分類上日本民族の位置(松村瞭)

笠雲・綿帽子雲及び頭巾雲に就いて(藤原咲平)

シヤバの經濟地理(上)(田中簡秀三)

樽前火山の爆裂(渡瀬正三郎)

支那の都市と其の二種類(下)(西山榮久)

阿蘇火山最近の火山活動に就て(下)(津屋弘遠)

日本群島の三角洲の研究(三)(東七龍七)

南アメリカ經濟地理(四)(下田禮佐)

東京市の地形と交通線(下) (淺井治平、山口孝義)

○地理教育 第十卷第三號 六月

カナダの地文・人文及び鑛産 (渡邊萬次郎)

シヤバの經濟地理(下) (田中館秀三)

信濃に於ける第三紀末葉の褶曲運動(上) (本間不二男)

樺太豊眞鐵道沿線の泥火山 (齋藤文雄)

動物地理學上より見たる日本(一) (曾根廣)

日本群島の三角洲の研究(四) (東木龍七)

ラツツェルの人類と環境とに關する見解に就いて(二)

(阿部市五郎)

南アメリカ經濟地理(五) (下田禮佐)

地形模型と其の簡易なる製作法(上) (西村健三)

○地理教育 第十卷第四號 七月

地域と國と世界(小田内通敏)

日本經濟區に就いて(一) (富士徳治郎)

バルカ即ち呼倫貝爾に於ける諸種族の分布及び産業(一)

(西山榮久)

カナダの地文・人文及び鑛産(下) (渡邊萬次郎)

動物地理學上より見たる日本(二) (曾根廣)

西藏探檢秘史(一) (ソコロフスキー)

ラツツェルの人類と環境とに關する見解に就いて(二)

(阿部市五郎)

南アメリカ經濟地理(六) (下田禮佐)

支那江南の名勝(上) (後藤朝太郎)

地形模型と其の簡易なる製作法(下) (西村健三)

○岩石礦物礦床學 第一卷第五號 五月

瀝青頁岩中の炭酸鹽礦物の微晶 (高橋純一)

阿蘇火山最近の活動 (田中館秀三)

低溫加熱の本溪湖石炭に及ぼす影響(三) (鶴見志津夫)

マダガスカル産黃長石の熱膨脹の異常 (神津傲祐、上

田潤一)

大石橋産及び大串産滑石の化學成分 (瀬戸國勝)

○岩石礦物礦床學 第一卷第六號 六月

神岡鐵山枋洞鐵床の礦化作用と露天化作用(一) (渡邊萬

次郎)

海成油母頁岩の天然乾留の一實例 (高橋純一)

黃銅礦の反射顯微鏡的研究用蝕劑に就て (中野長俊)

高玉鐵山産水長石の化學成分 (瀬戸國勝)

苗木産黃玉の化學成分 (遠藤岸郎)

金屬鐵床の成生に關する物理化學的諸問題(一) (渡邊萬

次郎)

○岩石礦物礦床學 第二卷第一號 七月

神岡鐵山枋洞鐵床の礦化作用と露天化作用(二) (完) (渡

邊萬次郎)

硫亞鉛礦と硫カドミウム礦との礦床學的關係 (渡邊萬次

郎)

海綠石の脫水現象に就て (八木次男)

新津油田のザクの化學成分 (高橋純一)

金屬礦床の成生に關する物理化學的諸問題(渡邊萬次郎)
地化學の概念(一)(高橋純一)

○鑛業 第六卷第六二號 四月

本邦に於ける鑛山發破法の起源(岡田陽一)

○鑛業 第六卷第六四號 六月

樺太鑛業の現況(可野信一)

朝鮮の金鑛開發に對する研究(尾山直治)

○科學畫報 第一二卷第五號 五月

面白い隕石の組織(加瀬勉)

地震の巢窟探検(寮佐吉)

褐藻海の不思議(小久保清治)

地質科出身のフーヴァー(渡邊萬次郎)

○科學畫報 第一二卷第六號 六月

石炭を石油にする話(堀省一期)

藝術の民臺灣蕃族(竹井健藏)

精巧を極むるマツオハの鍾孔洞(三浦伊八郎)

日本固有生物のいろいろ(岡田彌一郎)

○科學畫報 第十三卷第一號 七月

兩極地方の經濟的價値(石橋五郎)

南極の神秘遂に發かる(妹尾太郎 佐藤弘)

南北兩極地方の陸地(福井英一郎)

北極の海南極の海(丸川久俊)

北極の氣象南極の氣象(築地宜雄)

地軸は移動するか(高橋純一)

兩極圏内に住する諸民族(宮内悅藏)

南北兩極探検ロマンズ(佐々木彦一郎)

極地の生物(石井重美)

富士の植物帶と高山植物(武田久吉)

岸うづ波の話(淺野彦太郎)

雲の高さと山の高きの測り方(渡邊)

日本固有生物のいろいろ(二)(岡田彌一郎)

◎數理地理學 北田宏藏著 古今書院發行 五月 定價三圓二〇錢

◎世界構造地理學要論 楠田鎮雄著 古今書院發行 六月 定價三圓二〇錢

◎人文地理學 フリメンヌ著 松尾俊郎抄譯 古今書院發行 六月 定價四圓二〇錢

◎日本地質學地理學輯報 第六卷 第三一四號 三月

Some species of fossil and recent Polymorphinidae found in Japan. (J. A. Cushman and Y. Ozawa)

A revision of Polymorphinidae. (J. A. Cushman and Y. Ozawa)

Note on some plants from Korea and China belonging to the genera *Nissosia* and *Pterophyllum*. (H. Yabe and S. Oishi)

Jurassic plants from the Fang-tzu Coal-field, Santung, Supremant, (H. Yabe and S. Oishi)

Tertiary Brachiopods from Hanawa-mura, Akita Prefecture. (I. Hayasaka)

On genera *Tingia* and *Tingiostachya* from the Lower Permian and Permo-Triassic beds in Northern Korea. (E. Kon'no)

○Memoirs of the College of Science, Kyoto Imperial University. Series A. Vol. XII, No. 3. May.

Crystal-faces developed by etching metallic Crystals of aluminium and zinc. (B. Fujita)

An examination of the micro-crystals of calcium carbonate in molluscan shells by means of X-rays, Part III. (J. Tsutsumi)

○Records of Oceanographic Works in Japan. Vol. 1. No. 2. October, 1928.

Preliminary report on marine deposits from the southwestern North Pacific Ocean. (S. Hanzawa)

Hydrogen-ion concentration of sea-water in the Southwestern portion of the North Pacific. (K. Ito)

○Records of Oceanographic Works in Japan. Vol. 1. No. 3. February, 1929.

A cartographical study of the submarine relief of the Strait of Formosa. (H. Yabe and R. Tyama)

The Seto Marine Biological Laboratory of the

新刊即報

Kyoto Imperial University. Its equipment and activities with remarks on the fauna and flora of the environs. (T. Komai and J. Ikari)

○東京高師地理學會會報 第五冊 四月

自大正七年至大正九年地理學關係諸雜誌論文目錄

昭和三年地理學關係諸雜誌論文目錄

○支那鑛業時報 第七一號 四月

關東州海洋島嶼二尊子島金剛砂鑛床調査報文(羽田重吉)

間島天寶山鑛山調査報文(澤介治、今井登)

本溪湖城廠間地質鑛產地調査報文(赤瀬川安彦)

滙青頁岩中ノ炭酸礦物微晶(高橋純一)

○第一回測量會議記錄 鐵道省建設局計畫課 六月

地形測量に就て(野中亥太郎)

測量と地質の關係(岡林幸明)

線路選定に必要なる地質の智識(渡邊賢)

○朝鮮地質調査要報 第八卷ノ二 朝鮮總督府地質調査所 三月

全羅北道益山郡裡里地下水調査報文(島村慶兵衛)

全羅北道金堤郡進風面地下水調査報文(島村新兵衛)

全羅南道乾海岩製造用水及漁船用水調査報文(立岩巖)

◎朝鮮總督府地質調査所出版物目錄 第一 五月

▲朝鮮地質圖 第八輯 兼二浦沙里院及鐵寧圖幅 朝鮮總督府地質調査所 三月

○郷土 第三卷第二號 五月 長野縣上伊那郡郷土研究会

五月

伊北地方に於ける第四紀層の發達に就いて (春日琢美)

伊北地方及び附近の地形地質断片(1) (春日琢美)

農村資料上伊那郡平出 (中村寅一)

- *Supplement to Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research. Vol.10. No.8 Feb. 1929.*

The approximate content of calcium in the green kaolin from Tanokami. On the existence of gallium in the solar chromosphere. (S. Iimori)

- *ditto. Vol. 10, No. 9. April.*

Geographical distribution of certain minerals in Japan (S. Iimori and T. Yoshimura)

- *Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research. Vol. 10. Nos. 186—187. April.*

A rosy muscovite from Suizawa and a dark-grey muscovite from Doi. (S. Iimori and J. Yoshimura)

A pink kaolin, and ruthenium as a Minor Constituent of the Tanokami kaolin. (S. Iimori and J. Yoshimura)

- *ditto. Vol. 10. No. 188. April.*

The uranium-thorium-ratio in monazites. (S. Iimori)

- ◎ *Cities of Japan. By Yoshiro Nishida. Nara Chirigakkai*

○ 長野縣農會報 第三〇卷第五號 五月

嶺南遺作の地理學的考察 (三澤勝衛)

- ◎ 地象現象の意義と形成 三澤勝衛著

- *Bulletin of the Geological Society of China. Vol.7. No. 3—4. Dec. 1928.*

Hong Kong Celts. (C. M. Heanley)

Review on the Hong Kong Neolithic Collection. (P. L. Yuan)

Apetrographical study of the Chinese agalmatolites. (H. T. Lee)

Description of two Species of Chaetetes from the Moscovian of North China. (S. Chu)

Some notes on the contact between the Yangfang granite and the overlying Tiao Chi Shan beds. (S. Chu and T. H. Huang)

Some observations on the oldest formation in the province of Shansi. (C. C. Sun)

- *Bulletin of the Geological Society of China. Vol. 8. No. 1. April, 1929.*

Preliminary note on additional Sinanthropus material discovered in Chon Kon Tien during 1928. (D. Black)

The Mesozoic orogenic movement in eastern China (W. H. Wong)

Les pegmatiteides des roches volcaniques à facies

basaltique a propos de celles du Wei Tchang.
(A. Lacroix)

Observations sur les laves de la Mandchurie et de
la Mongolie orientales. (A. Lacroix)

Microscopical study of some coals from Szechwan
S. W. China. (C. Y. Hsieh)

○北海道石炭鑛業會々報 第一七七號 五月

樺太の鑛業(可野信一)

釧路地方の炭礦(下)(茂呂泰晴)

△筑豊炭田地質圖(斷面圖及説明書附)長尾巧著 筑豊石炭鑛

業組合發行 四月 定價五圓

○日本化學總覽 第二集第三卷第六號 六月

無糖的石油成因説の地化學的批判(高橋純一)

○日本化學總覽 第二集第三卷第七號 七月

岩漿水に就て(渡邊萬次郎)

○東洋學藝雜誌 第四五卷第五號 五月

「地球及地殻の剛性並に地震動に關する研究」回顧

(志田順)

○東洋學藝雜誌 第四五卷第六號 六月

火成岩の話(五)(坪井誠太郎)

○東洋學藝雜誌 第四五卷第七號 七月

マゲテアルクに於ける第二十三回獨逸地理學者大會
(今村學郎)

○史蹟名勝天然紀念物 第四集第五號 五月

南紀の奇勝見ヶ城と獅子殿(脇水鐵五郎)

○大大阪 第五卷第七號 七月

建設途上の新國郡南京(七)(村上愛治)

○朝鮮 第一六九號 六月

享保乙卯日本人の朝鮮漂流記(松田甲)

○朝鮮 第一七〇號 七月

黃海道の藥水(吉田)

○江原道の藥水(吉田)

○臺灣時報 第一一四號 五月

東洋に於ける石炭の需給關係と臺灣炭田の價値(城崎彦

五郎)

○臺灣時報 第一一五號 六月

本島產業界の大勢(内田)

南洋に關する書籍(山中樵)

○史蹟名勝天然紀念物 第四集第七號 七月

富士山麓の化石湖忍野平野と其の湧泉(石原利太郎)

雜報

○愛知地理學會報告

第五回例會 昭和三年九月廿二

日、名古屋市立第一高等女學校に於て開催。一、霧島山に就

いて 橋本孝平氏。二、北海道の地理的考察 岡田鎮太氏。

第六回例會 昭和三年十月廿日 名古屋市立第二高等女學校

に於て開催。一、愛知縣に於ける地形と古代民族との關係